

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人フォーラムひこばえ
評価者氏名（職名）	浜岡 政好（佛教大学 名誉教授）
評価対象期間（年度）	平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

### 1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合，基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に 3 件程度記入。

項 目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 ひこばえ事業	10%
事業名 児童館・学童保育事業	50%
事業名 放課後等デイサービス事業	40%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### (3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

### (4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

### (5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等, 広く社会に対して活動の成果を発信しているか, 地域団体等の他団体との連携の状況など

### (1) 活動の意義・成果等

法人の目的を達成するための基幹事業として、①コミュニティセンター「ひこばえ事業」、②児童館・学童保育事業「うたの・ひこばえ児童館」、③放課後等デイサービス事業「放課後くらぶひこばえ」が実施されている。法人全体の労力に占める各事業の労力の割合は①10%、②50%、③40%となっており、制度事業に多くの労力を割いている。これら制度事業の利用者が増えることを通して、地域への法人の認知度も上がり、地域住民の生活インフラとして根付いてきている。自主事業の「ひこばえ事業」は活動資金を得るため、助成金を活用したり、ガレージセールなどが取り組まれている。こうした取り組みを踏まえて、2017年度より就労支援B型事業「就労新事業所ひこばえ」がスタートしている。事業内容としては、カフェ事業、コーヒー豆焙煎、農作業等が予定されている。この新規事業については利用者の確保など事業運営の安定が課題となっている。

### (2) 社会への活動成果の発信

社会への活動成果の発信は、ホームページ、機関紙「フォーラムひこばえ」、月刊の「うたの・ひこばえじどうかん」などのメディアを通して行われている。月刊の「うたの・ひこばえじどうかん」がホットな情報を満載して、地域住民への情報発信の中心となっているが、スマホなどの普及状況に対応して、ホームページをもっと活用する必要がある。このために広報委員会を立ち上げるなど体制づくりが行われているが、財務諸表のアップやリアル情報の掲載などの前年の指摘事項がクリアされておらず、早急に対応する必要がある。

### (3) 地域団体等との連携

法人の事業や活動によって地域団体との連携がさらに広がってきている。2016年度から地域の福祉団体や老人クラブ、生協、地域包括支援センター、区の保健福祉センターなどと一緒に「右京区地域支えあい活動連絡会」に加わり、生活支援サービスを創出するために、これらの地域団体と地域課題やニーズを共有する場を作っている。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性, 組織体制の状況など

### (1) 財務管理の透明性

総会において決算報告書、監事監査報告書等が提示されており、財務管理の透明性は保たれている。

### (2) 組織体制の状況

#### ①総会

2016年度は定期総会とあわせて新規事業開設のために臨時総会を開催した。定款で定められた方法で審議・意思決定が行われている。議事録も定款通りに適切に作成されている。

#### ②理事会

理事会は2か月に1回、定款に定める招集者の範囲・方法で定期的に開催され、議案書に基づき審議されており、執行機関としての機能を適切に遂行している。しかし、議事録の作成については不十分さがあり、改善の必要がある。

#### ③監事・監査

監事は、第三者性、公正性を確保しており、定款に定める職務を執行している。

#### ④コンプライアンス

事業や活動に関する法令を把握し、遵守する体制が整えられている。また個人情報を含むリスクマネジメントも行われている。

#### ⑤事務局体制

法人の事業拡大によって、事務量が急速に増大しており、理事会を支える事務局の強化は喫緊の課題となっている。

#### ⑥職員体制

事業の拡大に伴う職員の増加に対応して、法人の理念の継承が重要になっており、理念研修の拡充が求められる。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
新規事業については利用者の確保など事業運営の安定が課題となっている。	<p>ひこばえ学童くらぶに所属していた障がいを持つ児童が小学校を卒業する時に、それまで培ってきた人間関係や居場所を保つため、放課後等デイサービスを開設した。さらにその児童たちが今度は社会に出ていく年齢になったときに、その人らしくなじみの場所で働くことができるよう、就労継続B型事業を立ち上げた。このようにひこばえでは、地域での暮らしのニーズに合わせた事業を、利用者、その家族と協力し合いながらつくり、歴史を刻んできた。</p> <p>しかし新規事業である就労継続B型事業所では開所から半年たった現在でも利用者がなかなか増加していない。事業所では関係諸機関や学校などを訪問し、利用者募集を行っている。京都市全域から見ると就労継続B型事業は、一定のニーズにこたえられている状態であるので、どこの事業所も利用者確保に苦労しているとのことである。当事業所では利用者の掘り起こしや利用対象者の拡大（精神障害など）を行っていくのと同時に、事業所、支援の中身や質の向上を目指し、職員の研修や他機関との連携を図っていく。経営安定に向けて全力を尽くしていく。また、すでに総会で承認されている事柄であるが、多機能型として生活介護事業所を立ち上げることを前倒し、ニーズにこたえつつ経営の安定を図っていく。</p>
ホームページをもっと活用する必要がある	2017年9月現在、広報委員会に置いてひこばえ本部のHP立ち上げに向け、業者に作成依頼をしている。完成予定は12月頃。すでにHPが出来ている児童館、放課後デイ、就労のリンクを張ってひこばえ事業内容の全体像を広報していく予定。
理事会議事録の作成については不十分さがあり、改善の必要がある。	理事会に向けての事務が組織的に行われていないことが原因。担当者を決めて対応し、改善していく。
法人の事業拡大によって、事務量が急速に増大しており、理事会を支える事務局の強化は喫緊の課題となっている。	給与事務、社会保険事務など、ある程度可能なところを外注するなどして事務局の仕事を整理し、増員せず（予算の都合上）に対応できるよう努力する。また、業務の見直しをはかり、施設長が管理業務をこなせるよう、業務分担をして改善をはかる。
事業の拡大に伴う職員の増加に対応して、法人の理念の継承が重要になっており、理念研修の拡充が求められる。	経営困難や中長期計画を考え実施していくためのプロジェクトチームを立ち上げた。そこに中堅や比較的勤務年数の浅い職員を配置し、議論を進めていく中で法人の歴史を知り、理念の継承を図っていきたい。

### 備考（審査委員会のコメント）

新たな事業が開始されている中、ホームページを活用した情報発信について、今後の更なる充実を期待する。引き続き、条例指定・認定による税制上の優遇措置のメリットを活かしながら、事業の拡大にも対応できるよう、活動基盤の強化を図っていく継続的な取組を行っていただきたい。